

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月22日

事業所名:放課後等デイサービス野の花 姪浜

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	・安全に活動できるように環境を整えて、子どもの受け入れを行っています ・狭く感じる時もあるが、活動内容の変更や活動場所を分けて活動しています	・状況に応じて活動や場所を変更するように日頃から話し合いを行っています
	2	職員の配置数は適切である	5		・配置基準を満たし、必要に応じて支援者を配置しています	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2	・事業所内に段差や階段がありますが、歩行が不安定な子どもには職員が見守りを行っています	・特に階段の上り下りには職員が見守りを行ったり、日頃から子ども達に手すりを持ち、ゆっくりと歩くように注意喚起しています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・職員で情報共有を行い、改善出来るように努めています	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・内部、外部研修に参加してもらい資質向上に努めています	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	・今後ツールの取り入れを目標にしたいです	・利用している子どもにどのようなツールが必要なのかなどを会議等では話し合い、検討していきます
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・特に長期休み中の活動がマンネリ化しないように事前に話し合いを行い、計画的に活動しています	・今後も同じ活動が続かないように工夫していきます
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			・外活動や室内活動、外出や製作等様々な活動を取り入れ、充実した活動提供が行えるようにしていきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・1日の流れを確認しています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		・その日の引継ぎ等を確認しています	・支援終了後にミーティングを行い、参加できていない職員には記録の回覧等を行い情報共有をしています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		・日々の活動記録として記入しています	・必要に応じて、職員会議で取り上げ職員周知を行っています
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・児発管を中心に参加していますが、必要に応じて現場職員にも参加してもらっています	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	・現状、必要としている児童がいません ・保護者から事前に具体的な対応方法を聞いたり、病院、主治医の連絡方法を職員で共有しています	・必要に応じて連絡体制を整えます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5		・同法人の児童発達支援センターにて事前研修や情報共有を行っています	・必要に応じて情報共有と相互理解に努めます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1	・要望があれば実施します	・現状、情報提供する機会はありませんが、必要に応じて情報提供を行います
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	・公園での外活動中に利用している子どもと同じ学校の友達たちと一緒に活動をしたことがあります	・特に保護者からの要望も上がっていません。そのような機会がほしいとの要望が上がった際は検討します
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	・ペアレントトレーニングが実施できるように支援員が今後学びたいです	・現段階での要望は上がっていませんが、どのような形で実施できるのか等を検討していきます	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・その都度、対応しています	・保護者からの相談があった際は、迅速かつ丁寧に対応しています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	・現状、要望としてあがっていません	・要望が上がった際は、検討していきます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	35	個人情報に十分注意している	5			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	・感染症対策の観点から実施できていないが地域の方への挨拶、会話は普段から行っています	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		・職員全員に周知しています	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		・内部、外部研修にて実施しています	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	・事前に保護者に尋ねています。現段階で利用している児童に医師の指示書が必要な方がいません	・必要に応じて、指示書の提出を依頼します
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		・書面で記載し、会議で取り上げ全職員で周知しています	